



第94回定時株主総会

2024年6月18日

株式会社 エフ・シー・シー

■報告事項■

1 第94期事業報告、連結計算書類ならびに
会計監査人および監査等委員会の連結計
算書類監査結果報告の件

2 第94期計算書類報告の件

会議の目的事項

■決議事項■

第1号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く。)
6名選任の件

第2号議案

監査等委員である取締役4名選任の件

議事の運営について

1

報告事項のご報告

2

議案の上程

3

報告事項に関する質疑・議案の審議

4

議案の採決



報告事項



企業集団の 現況に関する事項

当社グループを取り巻く環境

■経済状況■

物価上昇

金融資本市場の変動

日本

緩やかに回復

米国

堅調さを維持

中国

回復傾向も力強さに欠ける

アセアン

景気減速

インド

高成長が継続

自動車業界の現況

原材料価格の高騰による影響

半導体不足の緩和に伴い生産は回復

■四輪

日本 新車販売台数 前年比増加

米国 需要 堅調に推移

中国 新エネルギー車の増加により伸長

■二輪

インドネシア 需要 堅調に推移

インド 需要 堅調に推移

第12次中期経営計画 策定と推進

経営基盤の強化
基幹クラッチ事業の収益最大化

事業ポートフォリオ転換
EV/CASE領域
非モビリティ分野における
新事業開発を積極的に推進

売上収益

2,402億83百万円

2,189億
39百万円

2022年度

前期比
9.7%増

2,402億
83百万円

2023年度

135.48円

為替レート
(1米ドル)

144.63円

営業利益

151億2百万円

前期比
26.9%増

119億
3百万円

2022年度

151億
2百万円

2023年度

135.48円

為替レート
(1米ドル)

144.63円

税引前当期利益

191億69百万円

前期比
40.5%増

136億
41百万円

2022年度

191億
69百万円

2023年度

135.48円

為替レート
(1米ドル)

144.63円

当期の業績

親会社の所有者に
帰属する当期利益

122億31百万円

前期比
27.9%増

95億
66百万円

2022年度

122億
31百万円

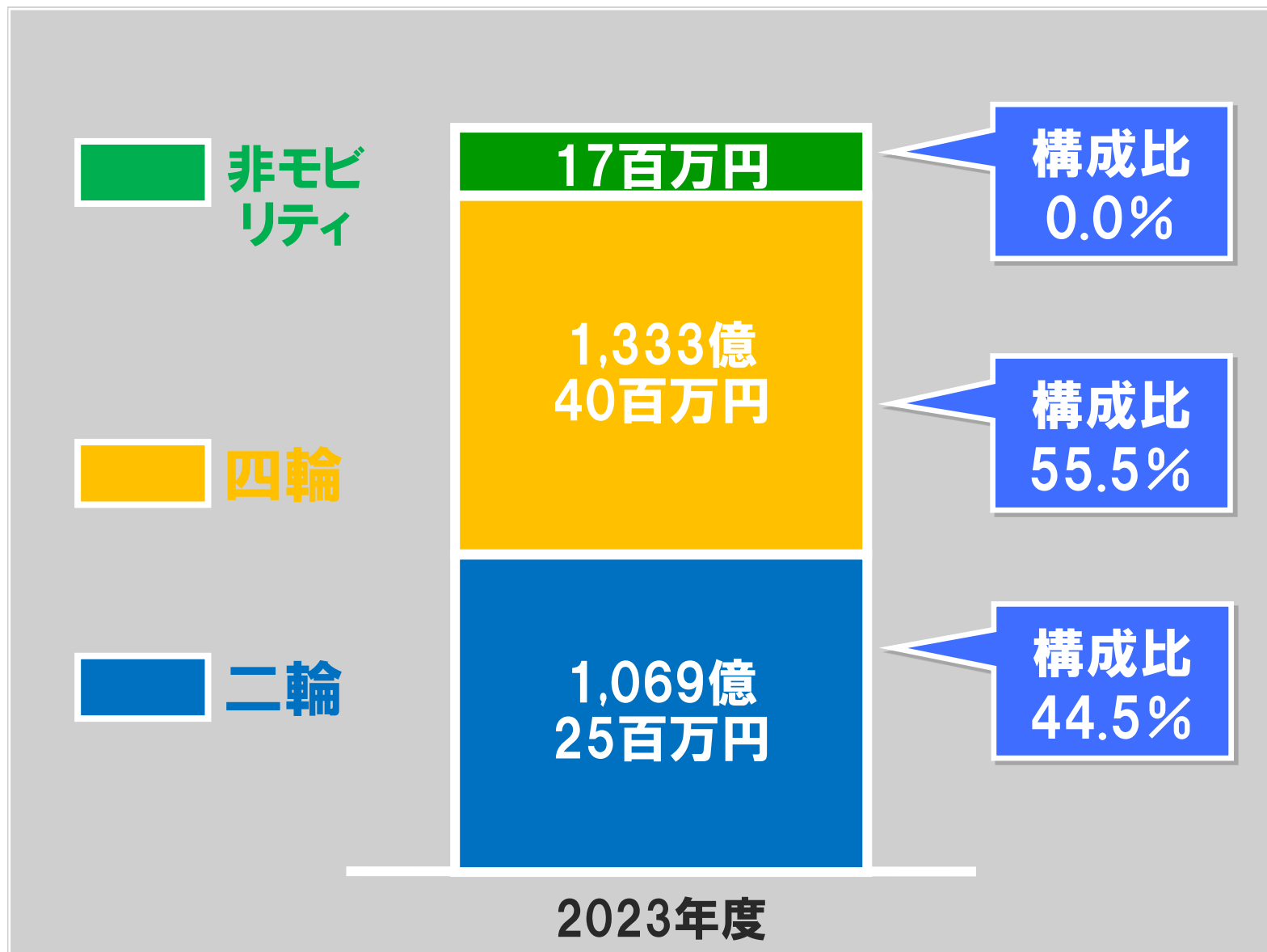
2023年度

135.48円

為替レート
(1米ドル)

144.63円

事業別売上収益





二輪事業

売上収益

1,069億25百万円

1,009億
67百万円

2022年度

1,069億
25百万円

前期比
5.9%増

2023年度

営業利益

95億47百万円

前期比
1.9%減

97億
29百万円

2022年度

95億
47百万円

2023年度



四輪事業



売上収益

1,333億40百万円

1,179億
60百万円

2022年度

1,333億
40百万円

前期比
13.0%増

2023年度

営業利益

82億87百万円

44億
70百万円

2022年度

前期比
85.4%増

82億
87百万円

2023年度

The background of the slide is a grayscale photograph of a paved road stretching into the distance, flanked by tall, thin trees. The road has white dashed lines in the center and solid lines on the sides. The sky is visible through the tree canopy.

非モビリティ事業

売上収益

17百万円

11百万円

2022年度

前期比
45.3%増

17百万円

2023年度

営業損益

△27億32百万円

△22億
96百万円

2022年度

△27億
32百万円

2023年度

対処すべき課題

■今後の経営環境 短期■

景気は緩やかな回復の継続を期待

世界的な金融引き締め 中国経済の先行き懸念
物価上昇 国際情勢 金融資本市場の変動

■今後の経営環境 中長期■

サステナビリティへの意識の高まり

デジタル技術の進展 一層加速

会社・事業の変革が求められる

第12次中期経営計画 進捗

第二の創業に向け経営基盤の強化と事業ポートフォリオ転換を着実に推進



経営基盤の強化

基幹事業
(クラッチ)

二輪・四輪事業の収益力の向上

二輪

インド・インドネシアを中心に需要堅調

- インド顧客新規受注でマーケットシェア拡大
- 各拠点アフターマーケット売上増

四輪

北米の市場回復と体質強化により収益最大化

- 中国経済不振も北米市場で回復基調
- インフレ価格転嫁と内部体質の強化で収益増

サステナ
ビリティ

ESG課題解決を推進

- 省エネ・再エネ施策の展開
- 人材戦略に向けたエンゲージメント調査、DX人材育成の体系化の推進

事業ポートフォリオ転換

新規事業

成長投資、リソース投入を推進 一部生産着手へ

二輪

電動基幹部品・パワーユニット量産準備

- インド：電動基幹部品・パワーユニット量産準備
- 日 本：モータ量産検証ライン設置

四輪

モータコアSUBモジュール事業量産準備

- 中 国：モータコアSUBモジュール事業量産準備
- 日 本：モータコア量産検証ライン設置準備

非モビリティ

カーボンニュートラルに貢献する事業開発

- セラミックセッター量産準備(24年上市予定)
- LiB用導電助剤の検証ライン準備(25年上市予定)

第12次中期経営計画 進捗

主要経営指標の進捗

- 基幹事業の拡大や為替の円安効果もあり、売上収益/営業利益は1年前倒しで中計目標値達成を見込む
- 事業ポートフォリオ転換に向けた新事業創出は、リソース投入を推進、一部量産準備へ移行

	12次中期計画 最終年度 目標値('23年5月公表)	2023年度 中計1年目 実績	2024年度 中計2年目 予想	2025年度 中計3年目 予想
売上収益(億円)	2,340	2,403	2,380	2,390
営業利益(億円)	160	151	160	165
ROE	8.0%	7.1%	6.7%	7.5%以上
総還元性向	40%	40.7%	40%以上	40%以上
事業ポートフォリオ転換 新事業創出	仕込みの完了	成長領域へリソース投入 一部量産準備へ移行	成長領域へのリソース 投入加速	第二の創業に向けた 仕込みの完了
為替レート(USD)	135	144.63	140	140

第12次中期経営計画 進捗

二輪事業：基幹事業と新規事業 全方位で拡大に向けて推進

基幹事業 | クラッチ事業 |



新規事業 | CASE領域 |



需要堅調、廉価・高付加価値技術の投入による商権獲得、収益は概ね計画通り

市場

- 市場全体：前年比需要増
- インド、インドネシアを中心に堅調に推移
- ブラジルやフィリピンも加えたグローバルサウスへの動き

当社

- インドマーケットシェア7割に向けた仕込み
 - ▶NEXT市場も見据えた廉価モデル拡販
 - ▶更なる原価低減活動
- グローバルアフターマーケット戦略の推進

■インドシェアの拡大

67%



70%以上
12次中計末

グローバルマーケット
リーダーを維持

電動化シフトに向けた
地域別戦略

主戦場

インド(アセアン)

バリューチェーンの構築とリソース投入を推進

大手OEM向け
量産準備を推進

モータAssy 量産準備開始
PCU アライアンス着手

現地事業開発体制強化
ソーシング活動強化



電動基幹部品
モータコア等

パワーユニット
モータAssy・PCU/VCU



更なる付加価値
データビジネス・アプリケーションサービス



第12次中期経営計画 進捗

四輪事業：基幹事業の収益最大化と新規事業へのリソースシフトを推進

基幹事業 | クラッチ事業 |



市場回復と体質改善施策により
収益最大化を継続

市場

- 中国：経済不振
- 北米：市場回復
- ICE→BEVからICE→HEV→BEVへの潮流変化

当社

- HEV動向に向けた最適生産による利益確保
- 適切な価格転嫁やコストコントロールによる体質向上
- 新規事業へのリソースシフトを推進

新規事業 | CASE領域 |



モータコアSUBモジュール事業
量産準備段階に移行

- 差別化技術開発の推進、一部量産準備へ移行
- 中国、日本でモータコア検証ラインを拡充
- 受注獲得に向けた顧客へのアプローチを継続

成長投資として

50 億円投入
(2024年度)

日本	35億円
中国	15億円

※開発費含む

世界展開している
拠点を活かして現地生産を
実現し、拡販を目指す



第12次中期経営計画 進捗

⚙️ 非モビリティ事業 × カーボンニュートラル/社会課題解決

カーボンニュートラルや社会課題解決に貢献する
事業開発と事業多角化に向けた基盤づくり



サーキュラーエコノミー

- ▶ 水と大気浄化、循環システムに繋がる製品・ソリューション

エネルギーソリューション

- ▶ 創エネ、蓄エネ、省エネと熱マネジメントを活用したエネルギーソリューション(燃料電池、触媒等)

新しい価値を生み出す多様な事業創出と風土醸成

- ▶ コトビジネス
- ▶ 社内創出文化醸成、海外ニーズに合わせた新事業展開

主な取り組みと進捗

1 カーボンニュートラル取り組み事例

半導体チップ焼成セッター

ターゲット	チップ焼成治具
活用機能素材	多孔質セラミックス
上市予定	2024年
上市までの進捗度	75%

チップ焼成時状態



チップ焼成治具 セラミックスセッター



半導体焼成治具市場

1,030 億円 (2030年予測)

2 エネルギーソリューション取り組み事例

～モビリティ領域にも展開～

LiB用導電助剤

ターゲット	LiB電極
活用機能素材	多層CNT
上市予定	2025年
上市までの進捗度	50%

多層CNT



導電助剤



CNT導電助剤市場

3,060 億円 (2030年予測)

※LiB：リチウムイオンバッテリー ※CNT：カーボンナノチューブ

3 多角化に向けた仕込みと探索

- 再生繊維受注
- ドローン事業受注(インフラ点検)

再生繊維
(和紙糸)



第12次中期経営計画 進捗

サステナビリティへの取り組み

気候変動

カーボンニュートラル(2050)に向け、
省エネ・再エネ施策を
FCCグループ全体で推進

再生可能エネルギーの積極的な利活用

太陽光発電設備

浜北工場

年間
推定発電量

417,444 kWh
(年間使用電力量の約8%)



地下水利用熱交換ユニット

渡ヶ島工場

電力
削減率

90 %

CO₂
排出量

20.3 t-CO₂/年削減



2023年度温室効果ガス(GHG)削減量実績

省エネ

2,730 t-CO₂

再エネ

3,667 t-CO₂

人的資本

イノベーション創出のための
人材戦略の策定と推進

人材戦略3つの柱を設定し推進

多様性

多様な人材が活躍できる組織風土の醸成

エンゲージメント

エンゲージメント調査実施

人材育成

DX人材育成体系化の推進

多様性の
推進

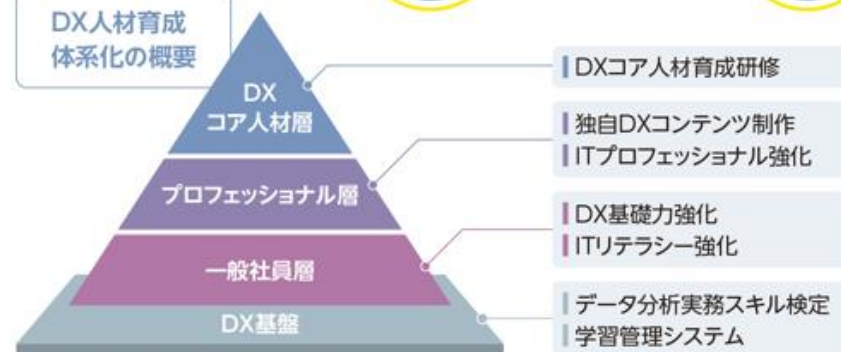
3 人材戦略
の柱

「新しいFCC」を
自ら実現していく人材を育成し
イノベーションを創出する
基盤をつくる

エンゲージ
メント向上

人材育成
能力開発

DX人材育成
体系化の概要



第12次中期経営計画 進捗

ギア キャッシュアロケーション、リソース投入 進捗

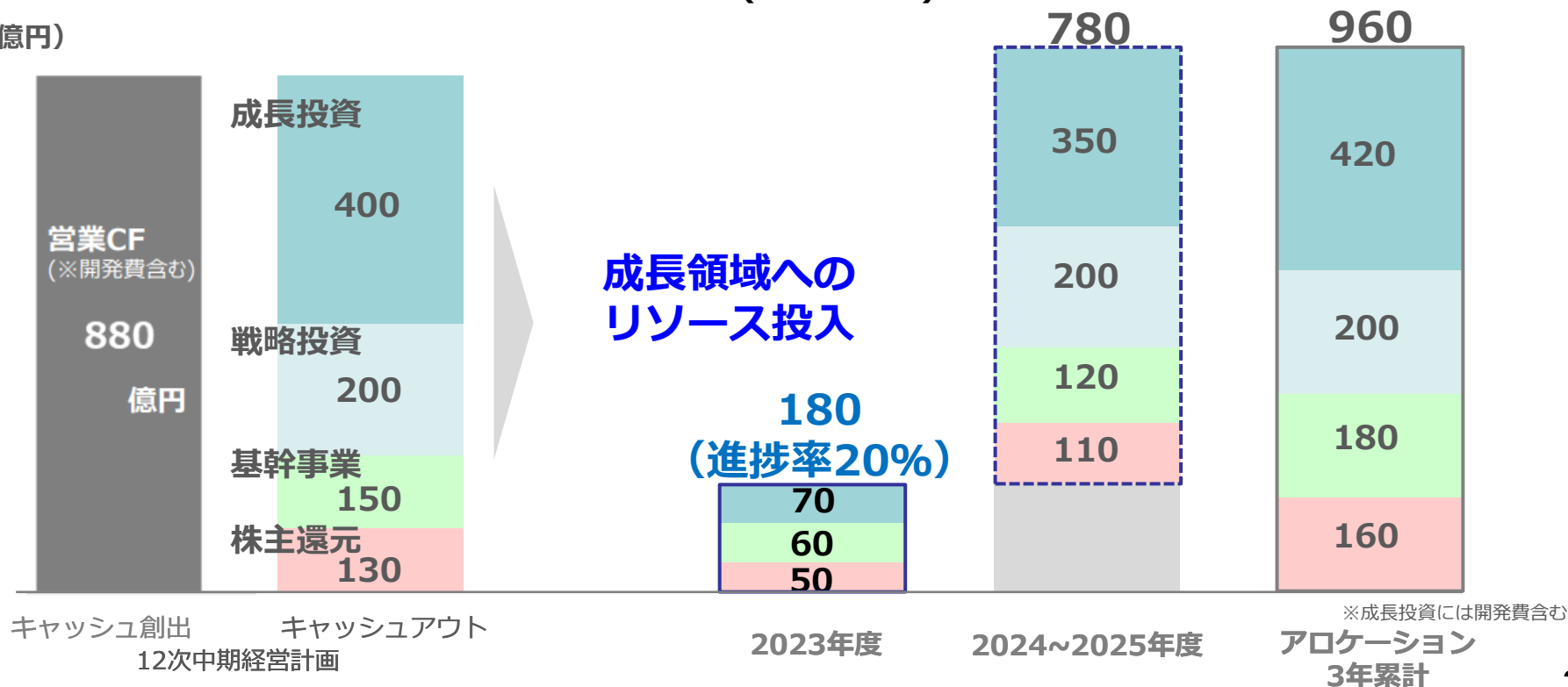
キャッシュアロケーション

- 健全な財務を維持
- 投資効率を意識した基幹事業への投資と成長投資への重点的な振り分けを推進
- 総還元性向40%以上

成長領域へのリソース投入加速

- 12次中計期間内に成長領域へリソースシフト(400人以上)、DX人材など人材育成を推進

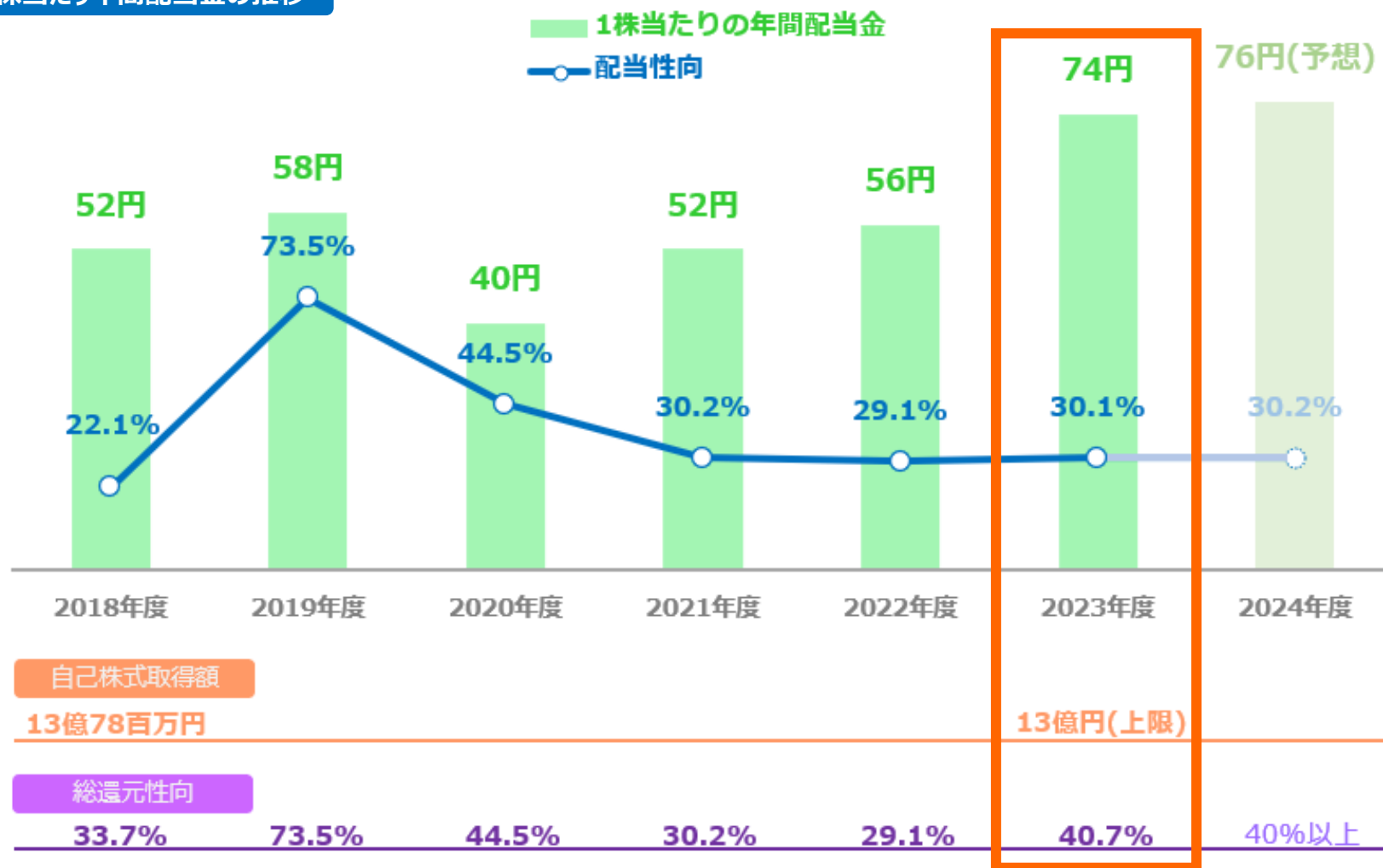
(億円)



第12次中期経営計画 進捗

株主還元 総還元性向40%以上を維持

1 株当たり年間配当金の推移





第94回定時株主総会

第1号議案

**取締役(監査等委員である取締役を除く。)
6名選任の件**

第1号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く。)6名選任の件

再任

斎藤 善敬

再任

鈴木 一人

再任

向山 敦浩

再任

中谷 賢史

再任

腰塚 國博

再任

小林 和徳

第2号議案

監査等委員である取締役4名選任の件

第2号議案

監査等委員である取締役4名選任の件

新任

坪井 彰

再任

杉山 一統

再任

山本真由美

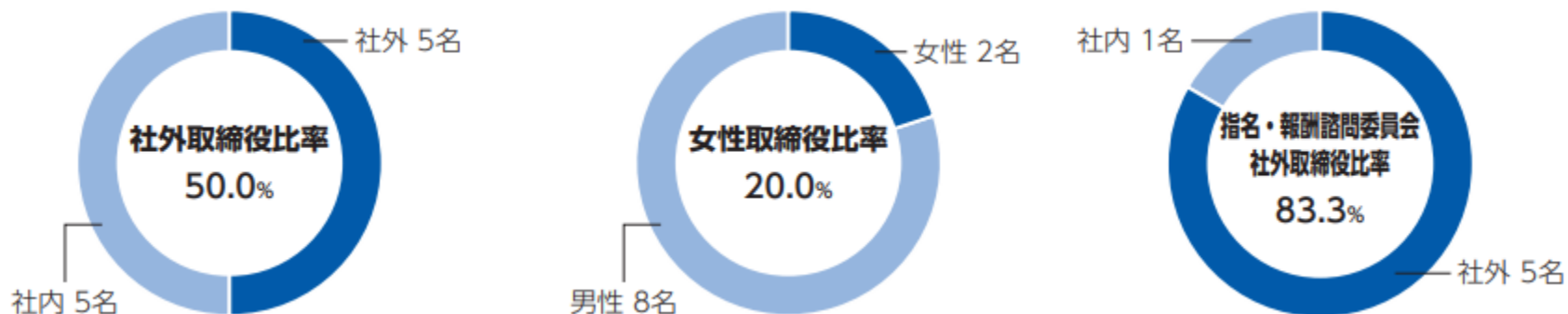
新任

河島 多恵

株主総会後の取締役会の体制

氏名	地位	指名・報酬 諮問委員会	企業経営	製造/技術 研究開発	営業 マーケティング	事業開発 M&A	デジタル IT/ICT/DX	財務/会計	法務 コンプライアンス	グローバル 経験
さいとう よしたか 斎藤 善敬	代表取締役社長	○	●			●	●			●
すずき かずと 鈴木 一人	専務取締役		●	●						●
むこうやま あつひろ 向山 敦浩	常務取締役		●	●						●
なかや さとし 中谷 賢史	常務取締役		●		●					●
こしづか くにひろ 腰塚 國博	社外取締役	○	●	●		●	●			●
こばやし かずのり 小林 和徳	社外取締役	○	●		●	●				●
つばい あきら 坪井 彰	取締役 常勤監査等委員		●	●						●
すぎやま かずもと 杉山 一統	社外取締役 監査等委員	○							●	
やまもと まゆみ 山本真由美	社外取締役 監査等委員	○						●		
かわしま たえ 河島 多恵	社外取締役 監査等委員	○							●	

(注) 各取締役の全ての知見や経験を表すものではありません。



事前質問

報告事項に関する質疑 議案の審議

議案の採決

第1号議案

**取締役(監査等委員である取締役を除く。)
6名選任の件**

第2号議案

監査等委員である取締役4名選任の件



第94回定時株主総会